

広島県版

参院選 西田ひでのり候補

信頼回復と未来への改革

参議院広島県選挙区再選挙が4月8日に告示された。わが党公認の新人・西田ひでのり候補は、広島に清廉な政治を取り戻したいという県民の願いを担う候補者だ。4月25日の投開票に向けて、広島未来を問う選挙戦がスタートした。

信頼回復への強い決意

「あのような事件は経て、今年の春、故郷二度と起してはならぬ」と西田ひでのり候補は語気を強めた。一昨年の参院選での買収事件が招いた政治不信は、今も県民の心に影を落としている。こうした状況で立ち上がったのが西田候補だ。経済産業省勤務を

経験を生かした

政策実行力

西田候補を知る人からは、高い政策実行力と経験の豊富さを評価する声が多く聞かれる。平井卓也デジタル改革担当大臣を「共に仕事をしたい」と期待を寄せる。中小企業支援に詳しい宮本周司前経済産業大臣は、「中小企業政策からエネルギー、デジタルまで幅広い活躍をしてきた」と経験の豊富さを評価する。果敢に新分野の政策を開拓し、困難な調整を成し遂げてきた西田候補ならではの強みがある。

広島から未来への改革

西田候補は、政治改革、コロナ対策をはじめとして「5つの政策」を掲げている。経済振興では、カーボンニュートラルや環境、デジタル化といった世界的な潮流も見据えながら広島経済のイノベーションに挑む。また、農林水産業の支援、教育や防災といった県民の暮らしに直結する分野にも目配りを欠かさない。広島県は、都市部から中山間地域まで、雪積もる山地もあれば瀬戸内海もあり、多様な環境が広がっている。政策のニーズも多岐にわたる。広島県選出の議員には、政策の引き出しは多ければ多いほど良い。西田候補の手腕に期待が集まる。西田候補は「いざれば地元広島のために働きたいと考えています。身を粉にして働いていきたい」と決意を語った。



広島未来を切り拓く決意を交わす西田ひでのり候補と岸田文雄党広島県連会長

県内から続々と応援の声

インターネット上で信じている。西田ひでのり候補を注目は候補者のツイッターで、日々の活動写真付きで発信するほか、党役員による応援メッセージが配信されている。LINTが次から次へと入り、Eでも最新の情報を配

西田ひでのり候補 5つの政策

- 1 政治改革**
透明な政治を目指し、政治への信頼を取り戻す。
- 2 コロナ対策**
県民の命と暮らしを守り抜く。
- 3 経済産業・農林水産振興**
広島経済のV字回復、攻めの広島に。
- 4 教育・働き方改革**
一人一人が価値を發揮できる社会へ。
- 5 防災・減災**
どの地域も安心できる災害対策。

プロフィール

昭和56(1981)年8月 広島県生まれ
 ●学歴：尾道市立高須小学校(転校)、広島市立口田小学校、広島市立口田中学校、広島大学附属高等学校(転校)、東京学芸大学附属高等学校、早稲田大学法学部
 平成17(2005)年 経済産業省 入省
 ●主な配属・出向先：通商政策局、産業技術環境局、商務情報政策局、原子力安全・保安院、内閣官房原子力規制組織等設立準備室、特許庁、資源エネルギー庁、金融庁監督局、内閣府知的財産戦略推進事務局、米国スタンフォード大学アジア太平洋研究所客員研究員
 令和3(2021)年 経済産業省 退官

- 趣味：食べ歩きとジョギング
- 好きな作家：司馬遼太郎
- 好きな言葉：温故知新

勝利のカギは期日前投票

参議院広島県選挙区は、令和元年改選時に復は他党に任せるものではない。政治への信頼回復は、自民党こそが担わなければならない。野党による議席独占を許すわけにはいか

て勝利し、与党の議席を守り抜きたい。選挙で大きな力を発揮するのが期日前投票だ。感染症の脅威が完了している中、投票所を有効に活用し、投票を有効に活用し、西田ひでのり候補を応援しよう。

4月25日(日)投開票



西田ひでのり候補
ツイッター
アカウント



党広島県連
LINE
アカウント